

耐衝撃性・超低歪ポリカーボネート窓材 海外からの発注増加で欧米にも積極展開

同社はポリカーボネート(PC)樹脂加工一貫生産システムを擁し、建設機械のルーフやゴルフカートのフロントウィンドウなどで国内シェアNo1を誇る。軽くて透明で強度のあるPC樹脂製品は、鉄道、EV、工作機械などへ参入分野を広げ、警備盾等のセキュリティ商品は、警備保障会社等とのタイアップにより開発した。

広島県三原市の本社工場、栃木県小山市の小山工場、米国イリノイ州の現地法人の3拠点をベースに、さらに欧州市場の開拓を推進している。

● 所在地 広島県三原市沼田西町小原200-76
● 電話/FAX 0848-86-1137/0848-86-6377
● URL <http://www.renias.co.jp>
● 代表者 代表取締役 前田 導

● 設立 1976年
● 資本金 7,000万円
● 従業員数 121人



需要獲得

従来の概念を覆す製品力で海外からの発注増加、欧米比率拡大

同社は数年前より海外市場への拡販を強化し、欧米を中心としたマーケット調査を経て海外営業部門を設立、同時に外国人採用を進め、営業・サービス体制を強化した。圧倒的な製品力が評価され、世界最大手の米国農機・林業機械メーカーとの契約を手始めに他社を含めて拡販に成功。2017年にはイリノイ州に米国法人を設立、欧州についても米国の後を追う形で採用が決まった。これにより同社事業の20%以上を海外輸出が占めるまでに成長、さらなる営業・サービス体制の強化を進めている。



観光バス用樹脂製リアウィンドウ

周辺企業からの調達や公設試験機関の活用など地域との関わり

地域に事業所を置く建設機械やキャビンメーカー、自動車メーカー等の顧客とともにポリカーボネート(PC)の市場形成を模索する過程で、PC成形体に周辺部品やフレームを装着したアセンブリー製品の展開や、車両用アルミサッシ等の製造販売も合わせて行うこととなった。これらの製品に取り付けられる部品の入手は、周辺企業からの資材調達なくして成り立たず、業容の拡大と共に地域経済の活性化に繋がっている。また、性能試験や耐久試験等の地域公設試験機関のサポートは、当社技術の裾野の拡大にも役立っている。



複雑な曲げ技術を要するアルミサッシ製品

他分野のニーズに合わせた製品化による商機拡大

既存製品である建設機械用の窓やルーフへのポリカーボネート(PC)適用のみならず、自動車、鉄道車両、ゴルフカート等、他分野のニーズに合致した性能や機能、信頼性を追求することで、一つの生産工程で複数の分野に提供できるPC成形体とその付加機能の開発が進んだ。その結果、PC窓材の基本性能(耐摩耗性、耐候性、耐熱性)に加え、調光、断熱性向上のための複層化や貼合技術、超親水や超撥水化、透明発熱によるデフォグー等、従来ガラスで検討されてきた付加機能がPCでも実現、商機拡大に繋がった。



特殊車両用フロントウィンドウの生産

ものづくり